

# 【日本版 C A B E を考える】実現に向けて何が必要か？

＜英国 C A B E 本部の建築家と共に議論を深める＞

案  
2013/07/19

定量的判断をベースとする日本の確認制度は、良質な建築・美しい街を創るといった定性的な判断を取り入れることは難しいのが現状である。景観法はあるが様々な問題を抱え決定打とはなっていない。C A B E (Commission for Architecture and the Built Environment) は 1999 年に英国で生まれた建築・まちづくり機構であり、良質な建築、美しい街づくりを目指し、審査（デザインレビュー）や実現支援（エヌエイブル）、教育と広報など様々な活動を続けている。日本にもこのような機構が必要との問題意識から日本版 C A B E 推進タスクフォースにおいて議論を重ね、J I A 横浜大会でもシンポジウムを実施し内容を深めている。今回、英国の C A B E 本部から建築家を招き、C A B E の特質を明らかにすると共に、日本において「良質な建築・まちづくり支援機構」の実現を目指して何が必要か？をテーマにシンポジウムを実施する。是非、多くの方のご参加をいただき、ディスカッションを深めて欲しい。



トーマス・ベンダー氏  
(英国 C A B E 本部、建築家)

■日本版CABE推進タスクフォース(建築・まちづくり支援委員会)主催シンポジウム【会場:札幌市教育文化会館305号室[150席]】

## 2013年 9月 6日(金) 9:30~12:00

アクセス:地下鉄東西線「西11丁目」1番出口から徒歩5分・バス「北1条西12丁目」から徒歩1分(札幌市教育文化会館OfficialHP; <http://www.kyobun.org/>)

■参加費:JIA会員:大会参加登録をお願いします(<http://www.jia-hok.org/hokkaido/hokkaido.html>)、会員外一般・学生:無料

■定員:50名(定員に達し次第、締切らせて頂きます)

■参加申込・問合せ

日本建築家協会 関東甲信越支部(大西)宛てに、①氏名 ②所属 ③連絡先(TELまたは携帯でも可)を記入しFAXまたはE-mailにて  
TEL:03-3408-8291 / FAX:03-3408-8294 / E-mail: [mohnishi@jia.or.jp](mailto:mohnishi@jia.or.jp)

■プログラム

- 9:30~ 会長挨拶 芦原太郎 (JIA 会長)
- 9:35~ 主旨説明 連健夫 (建築・まちづくり支援委員会 委員長)
- 9:50~ CABEの現在の活動 トーマス・ベンダー (英国 CABE 本部、建築家) 通訳:後藤克史
- 10:20~ パネリスト①コンペ支援における日本版CABEの役割と可能性  
長島孝一 (AUR 建築・都市研究コンサルタント)
- 10:35~ パネリスト②景観法における日本版CABEの役割と可能性  
倉田直道 (工学院大学)
- 10:50~ パネリスト③デザインレビューにおける日本版CABEの役割と可能性  
坂井文 (北海道大学)
- 11:05~ コメンテーター① 三井所清典 (アルセッド建築研究所)
- 11:10~ コメンテーター② 小林正美 (明治大学)
- 11:15~ ディスカッション
- 11:50~ まとめ 上浪寛 (JIA 関東甲信越支部長)

